

生態有機都市のまちづくり

『まちづくり庭園』の構想から地域マネジメントへ

早稲田まちづくりシンポジウム 二〇二一

2021年5月15日【土】 13時～18時

於 早稲田大学大隈記念講堂（Zoom同時開催）

2021年5月16日【日】 10時～18時30分

於 早稲田大学西早稲田キャンパス57号館201教室（Zoom同時開催）

主催：早稲田まちづくりシンポジウム2021実行委員会
（実行委員長 早稲田大学創造理工学部建築学科教授 有賀 隆）

共催：早稲田都市計画フォーラム

生態有機都市のまちづくり

『まちづくり庭園』の構想から地域マネジメントへ

都市のオープンスペースは地域社会を支える多面的な役割を担っており、他方、市民主体の多様なコミュニティ活動は、新たな公共性を担う自立的な地域事業として持続可能な仕組みの構築が求められている。農地を含む都市の環境は、こうした生産型まちづくり活動のフィールドとして多面的な機能を果たしていくことが期待されており、コミュニティの公益的活動を涵養する場として機能再編されることが求められている。本シンポジウムでは、「生態有機都市」の構想から計画、そして地域マネジメントの実践へ向け、国内、アジア、欧州の研究者、専門家を交え、先進事例の検証と評価を交えた研究討論を進め、その成果を提言として広く発信することを目指す。

DAY1 2021.5.15 SAT

国際

Session
13:00-18:00

Learning from Satoyama: Living with Sustainable Urbanism

都市およびその近郊における都市農地・農的空間、里山・樹林地・湿地、水系環境などは、自立かつ創造的な市民社会を持続的に更新していくための「共益的環境（コモンズ）」として、現代都市において大きな役割を持ち始めている。こうした都市の自然環境地を、共益的な都市へ向けたコモンズ「まちづくり庭園」と定義し、その構想の実現と地域マネジメントへ向けた計画技術や地域の社会的事業の仕組み構築へ向けた研究討論と提言を行う。

ダナイ・タイタクー
タマサート大学

Danai Thaitakoo
Thammasat University

クラウディア・カサッテッラ
トリノ工科大学

Claudia Cassatella
Politecnico di Torino

シェンリン・チャン
国立台湾大学

Shenglin Chang
National Taiwan University

コーディネーター
有賀隆
早稲田大学

Takashi Ariga
Waseda University

DAY2 2021.5.16 SUN

1

Session
10:00-12:00

水と緑がつなぐ生態有機都市のデザイン

本セッションでは、地域を循環する水と緑がそだつ基盤である土を思いながら、今私たちがくらしている世界の課題と未来、そこへ向かう道を議論したい。具体的には生き物に満ちた豊かな自然環境である潟と呼ばれる湿地や高度に人工的に整備された環境のなかでの水と土を対象とした活動事例から、水害・維持管理・自治といった社会的課題を見つめ、それらを修復していくためのエネルギーと方法を探る。それはインフラと人々をつないだ生態有機都市のデザインのひとつと呼べるのではないだろうか。

若尾明宏
NPO法人ねっとわーく福島潟会長
エヌシーイー（株）新事業戦略室長

滝澤 恭平
ランドスケープ・プランナー
(株)水辺総研取締役

土肥 真人
東京工業大学
エコロジカル・デモクラシー財団理事長

コーディネーター
佐々木 葉
早稲田大学

2

Session
13:00-15:10

マイクロファーマリングシティへ

本セッションでは、生態有機都市を実現する「まちづくり庭園」としての「都市の・そのさき」を、都市「+農」から考える。私たちは固定化した既成都市の姿からあるべき自然態の姿を、ふりだしに戻しながら「都市の・そのさき」を考える必要がある。そのキーワードが「生態的」「循環的」な都市のあり方をもたらす「生態有機都市」であり、「まちづくり庭園」である。その一つのあり方として、都市部に「+農」を実現する都市のカタチ「マイクロファーマリングシティ」へ向かうために、「先端技術」「公共的施策」「市民のコモンズ」などの視点からその意義と可能性を議論する。

三輪 泰史
(株)日本総合研究所創発戦略センター
エキスパート（農学）

山田 耕資
(株)プランテックス
ファウンダー&代表取締役

邑上 守正
亜細亜大学
前武蔵野市長

新津 瞬
アーバンデザインセンター大宮
デザインリサーチ

コーディネーター
関野 宏行
(株)佐藤総合計画取締役

3

Session
15:20-17:20

「まちづくり庭園」の事業化と多様なアプローチ

コロナ禍の中で、徒歩圏内の都市内農地や空き地をシェアスペースとして活用するという需要は高まりつつある。都市内農地や空き地活用の取り組みは市民主体で多様な取り組みが展開されつつあるが、本セッションでは、次なる展開として、1) 持続可能性を担保するためにまちづくり事業への筋道をつける、2) まちづくり庭園実現のための多様なアプローチ（農・福祉・環境保全・防災・教育・観光）で取り組みの幅を広げる、の2点に着目する。それぞれの取り組みを実践されているパネリストをお招きし、「まちづくり庭園」の事業化と多様なアプローチについて議論したい。

阪井 暖子
東京都都市整備局
市街地整備部企画課

西山 芽衣
(株)マイキ

滝川 正子
NPO・なごや東山の森づくりの会
理事長

鈴木 亮平
urban design partners balloon

コーディネーター
松浦 健治郎
千葉大学

統括

17:30-18:30

有賀 隆
早稲田大学

佐々木 葉
早稲田大学

関野 宏行
(株)佐藤総合計画取締役

松浦 健治郎
千葉大学

- 参加費（カラーPDF資料代含む）
一般 ¥2,000 / 早稲田都市計画フォーラムフェロー会員 無料 / 学生 無料
（※紙媒体は別途¥500、要申込み、当日会場受け取りのみ）

- 参加方法
会場参加、又はオンライン参加
（※参加方法に関わらず、事前申込みが必要です。）

- お申込み
以下リンクからお申込みください。
▶ <https://wasedasympposium2021.peatix.com>

- お問い合わせ
早稲田まちづくりシンポジウム2021実行委員会（担当：泉川・小松）
▶ waseda.toshiforum@gmail.com

- 早稲田都市計画フォーラムHP
▶ <https://toshiforum.com/symposium/post-462>

- 後援（申請中含む）
一般社団法人 日本建築学会 / 公益社団法人 日本都市計画学会 / 特定非営利活動法人 日本都市計画家協会 / 公益財団法人 都市計画協会 / 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 / 公益社団法人 日本建築家協会 / 日本都市学会 / 公益社団法人 土木学会 / 公益社団法人 日本造園学会 / 一般社団法人 東京建築士会 / 自治体学会 / 公益社団法人 日本建築士会連合会 / 公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター / 一般財団法人 都市みらい推進機構 / 一般社団法人 再開発コーディネーター協会 / 早稲田大学芸術学校 / エンジニア・アーキテクト協会 / GSデザイン会議 / 一般社団法人 ランドスケープアーキテクト連盟 / 稲門建築会 / 公益財団法人 日本都市センター

こちらからもお申込みいただけます。

